

ぱれっとスタッフによる 福祉用語解説

●計画はなぜ必要なのか

なぜ、福祉のサービスを利用する際は計画を立てる必要があるのでしょうか。それは、様々な人たちが関わりあって一人の障がいのある人をサポートしているからです。

本人や家族に聞き取りをしてどんなことを望んでいるか、どんなことに困っているのか、どんな風になりたいのか(将来の展望)などを踏まえたうえで支援をすることで、サポートをする人たちが同じ方向を向いて支援することが出来ます。それによって、サービスを利用する本人も、支援者が変わっても安定したサービスを受けることが出来ます。

●サービス等利用計画

これは福祉サービスを利用しようとする人の、生活全般についての計画です。

どんな福祉サービスを利用すれば本人の要望が叶えられるか、または日々の生活の質が向上するかを①指定を受けた特定相談支援事業者が、本人や家族、利用したいサービスの提供者などと話をして計画を作成するものと②本人や家族が直接申請するセルフプランの二つのパターンがあります。

セルフプランは自分で意思決定を行なえる人や家族との話し合いで様々なことを決められる人が向いていますが、家族や本人のみで自分に必要な情報(制度、サービス、事業所など)を探し出すことは大変で、本来利用できていれば本人の生活の質を上げ得る仕組みなども有意義に活用できていない可能性も考えられます。

ぱれっとの職員による「福祉用語解説」。今回は福祉の業界ではかなり耳にする機会が多い、他の業界からは違いが分かりにくい二つの計画[サービス等利用計画]と[個別支援計画]について取り上げます。

そのため、現在は専門的な知識を持っている相談支援事業者と共に話し合いながら計画を作成することが推奨されています。それを実現する為に国では相談支援事業者を増やすことと、研究・育成にも力を入れて質を高めることが重要だとしています。

●個別支援計画

これは、福祉サービスを提供している事業所ごとに作成するもので、本人や家族にアセスメント(聞き取り)をしてサービスの利用者に対してどのような支援を行なうかという事を具体的に記した書類です。

例えば、口頭での説明が理解しにくい人には絵や写真を用いたマニュアルを作成して説明したり、発語による意思表示が得意でない人には筆談やカードでの意思表示、はい、いいえで答えられる方法(クローズドクエスション)で随時本人の意思を確認したりと各個人の障がいの程度や特性に配慮したきめ細やかな対応を記しています。

●計画の見直し

計画は立てて終わりではなく、サービス等利用計画でも、個別支援計画でも一定期間での計画の見直しが必要です。

ライフスタイルの変化やその時の困りごとや目標が変わっていくからです。これらの計画は計画を立て、実行し、その成果を聞き取り、必要があればその都度計画を立て直すことでより良い支援に繋げていく事が大切です。

(おかし屋ぱれっと 井上ムハンマド)